



ミャンマーの都市開発

Mr. Soe Lwin

ミャンマー政府国境省
村落開発局 次長

ミャンマーについて

- 正式な国名は**ミャンマー連邦共和国**で、東南アジアに位置する。
- 1つの連邦地域、7つの州、7つの管区から成り、330の郡と64,817の村が存在している。
- 面積は677,000平方km。
- **ネピドー連邦地区**は首都で、政府機関が置かれている。行政首都として知られる。
- ネピドー連邦地区の面積は7,054.37平方kmで、人口は約100万人。
- 8の郡があり、ネピドー開発委員会は、その開発計画の実施を行っている。



ミャンマーの都市開発計画の草案

- ✦ ミャンマーでは、ヤンゴン(かつてアジアのモデル都市だった)とマンダレーの2つの主要な都市を優先して開発している。指揮をとっているのはユーテインセイン氏が率いる計画委員会である。
- ✦ この2つの都市では電気や安全な飲料水が不十分、不完全な下水道や交通手段といった問題に取り組んでいる。
- ✦ 町や村を含めた計画の草案は、政府の改革戦略に沿って実施されている。
- ✦ 大統領は州と管区の地方政府に対し、憲法に基づいて条例を変更させた。これにより予算配分と課税が確実に実行されたり、外国借款と援助が、各州/管区に均等に分配されることを目指している。



ヤンゴン市開発の40年計画

- ✦ 旧首都ヤンゴンは人口600万、面積795平方kmの港湾都市である。45の郡に区画され、その内の33は地方自治体である。
- ✦ JICAはヤンゴンを近代的な都市にするため、旧市街の再開発のための40年計画を立案している。
- ✦ 2013年に完成する予定の40年計画の草案には、市内の排水システム、都市交通、飲料水システム、ティラワ経済特区と港湾ターミナル計画などが含まれている。
- ✦ 交通渋滞緩和のため、いくつかの交差点では立体交差が計画されている。



マンダレー市の開発

- ✦ マンダレーは王国時代最後の都であり、多くの文化遺産が残っている。面積は113平方km人口は約100万人である。エーヤワディー川の東岸、ヤンゴンの716km北方に位置する。
- ✦ マンダレーは、国の中央に位置する2番目に大きい都市であり、北西のインド、北東の中国という隣国との貿易における商業ハブとなっている。
- ✦ 8910ヘクタールの面積の土地に建設中のマンダレー市の新しい衛星都市は、公社によって計画されている。
- ✦ 同社はタダ・オー郡の、マンダレー国際空港から8.8キロに渡る地区の計画に対して3000人の出資者を見込んでいる。





地方自治体による都市開発

- ❖ 全国的な開発を行い、都市と農村間の開発格差を狭めるために、それぞれの州/管区的首長には、憲法に則って、それぞれの都市開発計画を実施する責任がある。
- ❖ 連邦(国)のレベルでは、国境省村落開発局が都市開発を達成するために、それぞれの地方政府への技術やその他の必要な支援を提供する。
- ❖ ミャンマーの都市人口は、全人口の32.6%を占めている。ヤンゴンとマンダレーの人口は合わせて20%である。この2都市が急速に発展すれば、残りの地域・国全体も発展していくものと考えられている。

ありがとうございました。

